

平素は、弊社商品にお取り組み頂き、まことに、ありがとうございます。  
月間通信 8月号をお送り致しました。  
何卒、よろしくお願い致します。



画像は **Die hard 3** という **1995 年公開映画** のひと場面です。ドイツ女性が FRB の金庫破りをするところです。なかなか格好の良い女優さんです。New York の小学校を爆破するという予告に街がパニックになり、FBI や市警が総動員で奔走する中、お留守になった FRB に 10 数台のトラックで地下金庫へ乗り込み、**世界各国から預かっている金塊** を奪って逃走するというストーリーです。

FRB が世界各国からどれだけの金塊を預かっているのかは、調べても本当のところは分かりません。一応日経の記事では 1973 年に 1 万 2 千トンの Gold を保有していると出て来ます。1973 年というとニクソンショックの年で、以降金本位制が消え、世界は金融時代に入った年です。

日本は 730 トンの Gold を保有していて、大半を FRB に預けていると黒田日銀総裁は言っています。ドイツは、FRB に返してほしいと言い、返ったのかどうかは諸説あり分かりません。中国はどんどん保有量を増やし 1948 トンだと言い、ロシアは 2299 トンで、いずれも直近 20 年間で 5 倍ほどに増やしています。

果たして、FRB に預けた Gold は本当に今もあるのでしょうか。ハリウッドと **FRB** は同じオーナー筋だとすると、へそ曲がりの自分は、ハリウッドが言う事は何か疑いたくなり、映画でわざわざ **FRB** にある金塊を盗むストーリーを作るということは、金塊があることを前提にしているので、実は無い物があるように、人に思わせたいだけなのではないかと穿った見方をしてしまいます。

別に自分の金塊ではないので良いのですが、**金本位制に戻る** との噂がしきりに流れて来たり、オリンピックの開会式の様子をダイジェストで見ていると、**力の強い者はいつだって News 番組を使えば世界を一瞬で変えることが出来る** ように思えます。『何も足さない、何も引かない』という私のお気に入りのコピーがありますが、『誰も疑わないし、誰も知ろうとしない』。それどころか、正体不明なよく分からない物を好んで身体に打ったり、打とうとしたりしています。



私たちは、美味しいとうもろこしを食べて、「わあ〜、このとうもろこし、何て美味しいの」とひと騒ぎします。でも、本当に美味しいとうもろこしを食べたかったら、自分で植えて、育て、収穫し、そして茹でればいい。それだけでこの世のものとは思えない至福の喜びに浸れる。**これが、真実です。**

自分の畑を持つことは、ホンの少しの努力で出来ます。今年の4月に入社した女性は、目下電車を乗り継いで、週末に野菜作りの学びをしているらしい。1年間の講習で Zoom や実地講習を受けると言っています。『どうしたいの?』と聞くと、『自給したい』と。**もちろんパーフェクトと言う意味ではなく、可能な限り**と云うことだろうし、それは正しいと思います。

今回は、初めて自前で育てたハーブティーを飲んだ。



右上がレモングラス・花が咲いているのがエキナセア・左下の葉っぱはパイナップルミント・右下の葉がレモンバームの4種類です。今までは、買って来たものだったし、ドライでした。これらは生のままお茶にした。やっぱりフレッシュが良いというのが結論になった。何て言うかマイルドって感じかな。いや、そんな事ではなく、貨幣が、等価値の Gold に換わるって話なので、お金で物を買うという事ではなく、自分で作るという話です。20歳過ぎの頃、自分が使うものは何でも自分で作ってみようと思い、Tシャツを自分で縫った事があります。自分が買いたいと思う物は、何でも買う事が出来るが、それは詰まらないと思う。お金で物を買ひ、手にして、

使う。この事をもう一度疑ってみる必要があるように感じています。

この世界はかつて神が支配していた。神に寄り添わない事の恐怖がひとを支配した。でも、その神から離れた民は、神以上にひとが不安になる物を生み出した。それが貨幣です。**人がお金を欲しくなる状況を作っている限り、人は自分に従う社会を作り出した。**彼らはお金を儲けているのではなく、紙に印刷している連中です。つまり造幣権を持っている。1913年アメリカ議会議員がクリスマスでほとんどがいない間に、造幣権である連邦準備制度を残っていた議員で可決してしまった。政治とはこういうことを言う。コロナウイルスも貨幣も同じ連中が作り出した幻影である。嘘は100%嘘ならすぐにバレるが、多少本当が混じっているだけで、ひとは嘘とは思わなくなる。つまらない冗談も本気で繰り返せば笑えるのと似ているのかもしれない。

それなら、出来るだけ彼らの貨幣が仲立ちしない経済を作ってみるのもいい。100%である必要はない。



プランターでもいい。貸農園でもいい。お茶に出来る植物を植えてみるのは、良いことだ。言ってみれば草だから、農薬も肥料も要らない。水を遣ればいいだけ。

7月24日満月の夜。小豆島の家から出てみれば、海の上にポツカリ月が浮かんでいた。現実離れしている風景に映るが、**これが現実だ。**

有限会社アルファ

吉田清一郎